



令和8年 4月17日

別府小便利

枕崎市立別府小学校 TEL76-3452

【校訓】

大きな夢を

(その実現に向けて)

明るく 正しく たくましく

4月



つくし・ひまわり・たんぽぽ学級開級式



本校の特別支援学級「つくし学級」「ひまわり学級」「たんぽぽ学級」の合同開級式を4月14日(火)に行いました。各担任と保護者の方々が見守る中、子供たちは、一人一人が元よく返事をしており、その姿に「この1年も頑張るぞ!」というやる気と意気込みが表れていました。この1年での成長が今からとても楽しみです。

子供たちは、それぞれ違う個性をもっています。違うからこそ、「みんなちがって、みんないい」一人一人がかけがえのない存在です。特別支援学級を含め、全ての子供たちが生き生きと学び成長していけるよう、個に応じた指導・支援に努めてまいります。保護者の皆様のご理解・ご協力よろしくお願いいたします。

ありがとうございました!第1回学級PTA

4月14日(火)に、今年度第1回目の学級PTAを実施しました。お忙しい中、たくさんの保護者の皆様にご出席いただき、誠にありがとうございました。新年度になり、保護者の皆様と初めての顔合わせということもあって、各担任もどきどきワクワクしながら迎えましたが、どの学級のPTAもとても穏やかな雰囲気の中で終えることができました。PTAを終えて、どの担任も「学校が子供たちのために真摯に頑張っていけば、保護者の皆様も全面的にサポートして下さる」と、大変心強く思ったようです。保護者の皆様、各学級の教育活動へのご理解・ご協力、よろしくお願いいたします。

令和8年度 児童数・職員構成

校長	宇治野 裕樹				教頭	渡瀬 雅代☆			
学年	児童数	学級担任	学年	児童数	学級担任	学年	児童数	学級担任	
1	10	中園 良枝	4	16	西丸 紘市	つくし	(7)	吉永 佳名子	
2	10	野浦 知生	5	14	小野池 篤志	ひまわり	(5)	佐竹 菜月	
3	13	芝原 由美子	6	23	山田 義輝	たんぽぽ	(4)	内田 由佳	
※ ()の数字は再掲 合計 86(16)									
理科専科	中村 由佳				学校主事	鮫島 和代☆			
書写専科	田中 陽菜☆				特別支援教育支援員	森 夏夜			
養護教諭	大住 千穂☆					大原 美佐子☆			
事務主幹	畠中 真一					福永 美佐子☆			
学校司書	堀之口 結子				スクールサポートスタッフ	浜村 晴美			

☆の印がついている職員が、転入職員です。

5月の主な行事予定

日	曜	行事等
1	金	歯科検診①全 PTA 歓迎会
7	木	検尿2次(～8日)
8	金	プール掃除⑤⑥456年
9	土	土曜参観① 23年②456年 緊急時引き渡し訓練
11	月	保護者面談[白沢・板敷]
12	火	保護者面談[俵積田]
13	水	保護者面談[中原]

日	曜	行事等
14	木	保護者面談[下山] 眼科検診⑤全
15	金	市民あいさつ運動 保護者面談(予備日)
22	金	検尿(予備日) 体力・運動能力調査②③56年
25	月	のはらぎ読み聞かせ 学校開放週間(～29日)
27	水	特別支援学級合同学習会
28	木	地震を想定した避難訓練

子供たちの願いを形に ——「あかるい別府小」のスタート 校長 宇治野 裕樹

春です。校舎のあちこちに、今年も新しい音が戻ってきました。子供たちの足音、笑い声、少し緊張したあいさつ。校長室にいても、「ああ、始まったな」と実感するこの数日間は、何年経験しても背筋が伸びる思いがします。正直に申し上げれば、毎年この時期は期待と同じくらい、小さな不安もよぎります。「今年は、子供たちにとって最高の一年にできるだろうか」と。校長という立場であっても、4月はやはり一人の教育者としてのスタートラインです。

始業式では、今年度のキャッチフレーズ「あかるい別府小」について、子供たちと「答え合わせ」をしました。これは現在の6年生が、昨年度から「別府小学校に通う私たちは、こんな姿になりたい」との願いを込めて考え抜いたものです。「あ・か・る・い」の4文字には、それぞれ明確な目標が込められています。昨年度の修了式の日、私は子供たちに「言葉の意味を春休みに予想しておくように」と宿題を出しました。

始業式当日、子供たちに「『あ』は何だと思っ？」と問いかけると、体育館のあちこちから「あいさつ!」「ありがとう!」と、多様な考えが返ってきました。その反応の速さと真っ直ぐな瞳を見て、私は少し肩の力が抜けました。そこには、日常の中で自ら考えようとする、別府小の子らしい姿がすでにあつたからです。

また、入学式では10人の新1年生が仲間入りしました。椅子にきちんと座ろうと背筋を伸ばす姿、名前を呼ばれて精一杯の「はい」を返す姿。その一つ一つが、会場全体をやさしい空気で包んでいました。少し緊張していた子もいたようでしたが、それもまた

大切な成長のプロセスです。大人が焦らせず、急がせず、じっくりと見守る。その心の余裕こそが、学校の「あかるさ」の源泉であると改めて確信しました。

私は、「あかるい学校」とは、単に元気にぎやかな場所だけを指すのではないと考えています。わからないときに立ち止まってもいい。失敗しても、何度でもやり直せばいい。そうした「心理的安全性」という確かな土台があってこそ、子供たちは初めて本気で前を向くことができます。教育学者ジョン・デューイは「経験は、次の経験へとつながってこそ意味をもつ」と述べています。私は今年度も、積極的に各教室へ足を運び、子供たちと一緒に授業に参加し、時には共に悩みながら、一日の小さな経験が確かな学びへと変わる瞬間を大切に積み重ねていきたいと思っています。

今年度の別府小は、6年生が考えた「あいさつ」「考えること」「ルールを守ること」「一歩前へ(挑戦すること)」を具体的に実践していきます。数値目標としても、学期末のアンケートなどを通じて、子供たちの『できた!』という手応えを数値としても可視化し、確実に成長を支えてまいります。

この歩みは学校だけで完結するものではありません。保護者の皆様、地域の皆様と手を取り合い、力を合わせてこそ、子供たちは安心してその才能を伸ばしていくことができます。

さあ、いよいよスタートです。本年度も、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

新1年生の皆さん、入学おめでとう!



4月9日(木)、第80回入学式を行いました。10名の新1年生は、ちょっぴり緊張しながらも、一人一人元気な声で「はい」と返事をする事ができました。保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。きらきら輝く10の宝者(タカラモノ)がさらに輝きを増していきますよう、家庭と学校が連携を深めながら子供たちの成長を支えていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

